

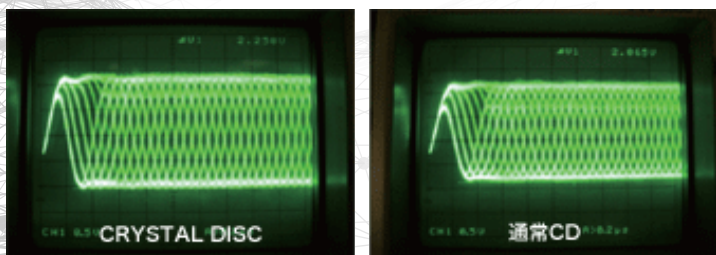
Best Sound Ever

- ・透過性、複屈折、入射光や反射光の歪みが少ない光学性能を誇ります。
- ・傷や割れにも強く、温度、湿度による経時変化がほとんどありません。
- ・液体樹脂を用いた紫外線硬化方式による高精度なビット＝“いい音”。

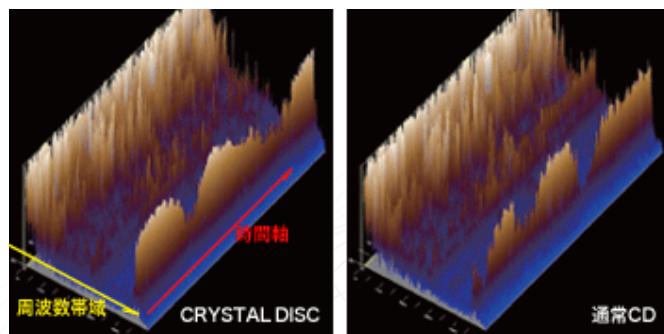


「CRYSTAL DISC」は、ディスクの基盤として、ポリカーボネイト(プラスチック)の代わりに光学用ガラスを用いたCDです。音楽のビットを形成するために、液状の樹脂を用いた紫外線硬化方式※1を採用し、従来製法よりも高精度なビット転写を実現しました。創造を越えた高音質の世界を通常のCDプレイヤーかカーオーディオで楽しめます。「究極のCD」と呼ぶにふさわしいニューメディアです。

CDのビット情報をアナログ波形で観察した「HF信号」の比較(下図)では、CRYSTAL DISCの波形は“網目”がハッキリと見えますが、通常CDの“網目”はぼやけて見えます。これは、ビット情報が原盤(スタンパー)に対して忠実に転写されていることを示しています。波形の高さが異なるのは、光学用ガラス基板を用いることで光学特性の品位が向上していることを表しています。

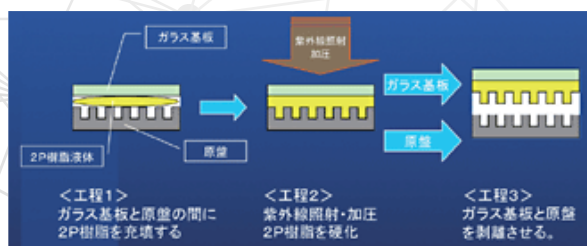


FFTアナライザー(下図)で通常CDとCRYSTALDISCを比較すると、CRYSTAL DISCの波形は密度が高く、マスター音源をより忠実に再現していることがわかります。



※1 液体を用いた紫外線硬化方式＝2P法(Photo Polymerization)とは

通常のCDは、ベースとなるプラスチック原料を射出成形機にて約300℃まで溶融させ、樹脂を金型に高圧力で注入し成形しています。一方、CRYSTAL DISCに採用された2P法では、液状化した樹脂をガラス基板と金属原盤(スタンパー)の間に充填し、紫外線硬化処理で瞬時に固体化させ成形します。高精密な高転写ビットを複製する特殊な製法です。



はメモリーテック・ホールディングス(株)の登録商標です。